

2018.1.7更新

国際研究集会
「戦後日本文化再考」(坪井班)
プログラム

期間：2018年3月2日(金)～3月3日(土)

会場：日文研第一共同研究室

【3月2日(金)】

◆午前

レジストレーション

◆午後

13:30-13:40

所長挨拶：小松和彦(日文研所長)

13:40-14:00

開会の辞：坪井秀人(日文研)

「戦後日本文化再考」を再考する

14:00-16:00

基調講演：キャロル・グラック(コロンビア大学)

Sengomatsu and the Arc of Modernity

16:00-17:00

討論：ディスカッサント：五十嵐恵邦(ヴァンダービルト大学)

【3月3日（土）】

◆午前午後 パネルディスカッション

9:30-10:45 シュテフィ・リヒター（ライプツィヒ大学）

„Now-time“, „Tiger's leap“ (Benjamin) and „Post-(post)war Japan“. *Some notes*

「今時」「虎の跳躍」（ベンヤミン）と「(ポスト)戦後日本」：再考ノート

ディスカッサント： 戸邊秀明・申知瑛・鷺谷花

11:00-12:15 林志弦（西江大学校）

"Apologetic Juxtaposition: Maksymilian Kolbe-A Polish Catholic Martyr in

Auschwitz and the Japanese *Hibakusha* Martyrdom in Nagasaki"

ディスカッサント： 辛島理人・朴貞蘭・李承俊

13:15-14:30 酒井直樹（コーネル大学）

Theory and Anthropological Difference: Toward a Minor Politics of Area Studies

ディスカッサント： 斉藤綾子・沈熙燦・張政傑

14:45-16:00 成田龍一（日本女子大学）

近代のなかの「戦後」／「戦後」のなかの明治

——「維新150年」と「戦後70年」のあいだ

ディスカッサント： 石川巧・尹芷汐・橋本あゆみ

16:30-17:45 ラウンドテーブル

司会： 坪井秀人